



亀ちゃんパン



# きらめき亀山21

きらめき亀山21広報部  
amani@helen.ocn.ne.jp

第36号

2004年3月21日発行

## 第4回市民交流会「きらめき亀山21」

### グループ・世代を越えて一同に集う

半年近く前から構想を練り準備をしてきた第4回市民交流会「きらめき亀山21」が去る2月22日(日)亀山中学校で開催されました。今回から環境保全、文化芸術、社会福祉等さまざまな分野の34団体のブース展示も加わり、広い体育館もところ狭しです。それぞれのブースでは代表者みずからマイクを持って活動を紹介しました。中央では踊りやニュースポーツ等の団体の発表もありました。軽やかなメロディにのって繰り広げられるダンスは観衆を魅了しました。南小学校の子どもたちがそろいのはっぴ姿で「ヤンレサ亀山」を披露する頃には入場者も250人を突破、用意した食事は足りるものかと担当スタッフは内心心配したそうです。早くも昼食時間となりカレーの配膳を待つ列ができました。この昼食は前日から調理班に亀山高校の生徒さんたちも加わり、当日初公開の「亀ちゃんパン」と一緒に準備されたものです。おいしい昼食後は、6部屋に分散し「輝く亀山を築くためにはどうしたらいいか」を話し合いました。未来を築く中学生から経験豊かなお年寄り、それに市長さんや助役さんも一市民として共通のテーマで話し合うユニークな、また貴重な場となりました。再び体育館に戻って各分散会の発表です。ゴミのないきれいな町、子どもたちに安全な町、自然や景観を活かした町、地域格差を無くした町等々、各グループとも共通の想いが続きました。この市民交流会は年に一度ですが、毎月21日には誰でも自由に参加し語り合う場「きらめき亀山21市民交流の日」も市役所で開かれており既に3年以上続いています。ぜひご参加ください。

### 目次:

第4回市民交流会 「きらめき亀山21」 太岡寺交差点	1
市民交流の日 「昭和30年代を語ろう」 市橋隆雄さんを支える会 講演会	2
地域の活性化に 女性パワー ぼっかぼかの会報告 パソコン相談開催中	3
これからの行事予定	4



みんなで体操しよう!

## ！太岡寺交差点クリーン作戦

### 過去最高の約700人が参加！

3月20日(土)早朝から国道1号線太岡寺交差点のクリーン作戦に亀山市まちづくり推進会議、亀山市地区衛生組織連合会の呼びかけにより各種団体、企業、学校などより約700人が集まりました。今回は従来のような単なる掃除の奉仕ではありません。

道路管理者の国土交通省がついに中学生や市民からの意見・アイデアを実行に移した美化作業です。中学・高校の生徒さんたちは豊かな自然をイメージした壁画の色付け作業、各団体の高齢者や女性を中心に、新しくできた花壇への花の植付けとそれに合わせた清掃作業です。応募された中から選ばれた標語「さわやかな心と心が通う道 みなさん協力ありがとう!」の大型看板も掲げられました。暗い、狭いそして汚い一帯が生まれ変わりました。ポイ捨て警告の発光サインと監視カメラも設置されました。私たちの作業を見た、全国から来た数えきれない多くの運転手さんたちにも、みんなの想いが伝わったことでしょう。市民みんなで見守っていきましょう。

### 自然体験・エコフェスティバル みつまた祭り

3月28日(日)

10:00~15:00

坂本農村公園 みつまた  
見学ツアー、紙すき・和紙作品作り・句会等

2004年4月21日(水)

19:30~21:30

「市民交流の日」

市役所3階大会議室  
事前申し込み等不要

その日来た人は  
みんな仲間!



壁画を描く生徒たち

大型看板と花壇ができました





## 2月の市民交流の日の発言から

## テーマ「昭和30年代を語ろう」

- ・今の若者に30年代が人気だと聞か、まだみんな貧しかったし安保問題等で政治は混沌としていた。それなのに何が魅力なのだろうか？
- ・学生運動が盛んなころだった。今の学生は政治への関心がない。他人事に思っている。
- ・当時は恐いお父さん、おじさんがいた。自分のことでも他人のことでも関わった。
- ・北朝鮮の拉致問題でもわかるように、個人の犠牲を放っておかなかった。
- ・今の日本人はおとなしすぎるのではないか。今のままでは50年先が心配。
- ・30年に高校に入ったがのどかだった。窓から出入りしても先生は黙認していた。心のどこかにゆとりがあった。
- ・30年に神辺・白川が亀山に合併し、亀高が県立になった。
- ・青年団が中心の田舎だった。物がなく耐え忍ぶ時代だった。
- ・投票も行かない若者が文句を言う。孫に渡すのに今のままでは不安。物がありすぎてだだくさになった。
- ・30年代は青春だった。地藏盆も活発。家族の団欒があった。人と人とのつながりが温かかった。
- ・今の日本は時間に追われてゆとりをロスと考える。ゆとりがなく他人を考えなくなった。「無駄も大切」という感覚がなくなっている。システムを変えないとどうにもならないが。
- ・先生の忙しさに質の違いがあるようだ。
- ・鼻たらし子どもが当たり前だった。テレビがなかった。映写会をしたり地域のつながりがあった。
- ・川で泳いだ。冷たい水で泳いでかなづちはいかなかった。先生と駐在が恐かった。
- ・高度成長の始まりに生まれた。まだ牛がいて肥溜めがあった。
- ・目標が共通で一致していて未来が明るい思いがあった。それが1970年代以降不透明になってきた。
- ・価値観の多様化。子どもと交流しようとしてもうっとおしいと思われる。
- ・居間でひとつのテレビを囲んですごせるかな。家族が離れてしまっている。自分のことはほおっておいて。人のこともほうっておく。
- ・ものの豊かさと心の豊かさは一見両立しないように思えるがそうではないと思う。より成熟した社会に進むことが必要だが、昨今の情勢は勝ち組みと負け組みに2分され貧富の差が広がってくるようだ。これは次世代にも悪い方向だ。
- ・殴っていけない場所のルールがあった。ワルがいなくなった。クラスを仕切るの女子になった。
- ・鉛筆を削らなくなったのも原因では。危険だからと親が言うようになった。
- ・こんな時代にした親としての罪滅ぼしをするときでは。市民活動をしているのもそのひとつ。
- ・合併が弱者いじめにならないか。地球人として大きなスケールで考えていく時代では。
- ・自分たちが自分たちの地域をどうつくっていくかの時代では。



昭和30年頃の亀山駅

## 日本と国際化についての講演会（無料）

3月27日（土）19：00～21：00 総合保健福祉センター「あいあい」

テーマは 国際協力とは？  
日本社会の閉鎖性について  
活きた英語を使うには？ 他

講師は永く日本の国際交流に貢献されてきた館清先生です。

またTOEICと英検の三重県委員長として、活きた英語の習得のお話もさせていただきます。

主催：「市橋隆雄さんを支える会」





### 地域の活性化を考える会

メンバーが少ないことで悩んでいた「地域の活性化を考える会」に、女性がたくさん加わってくれそうです。先日新メンバーを交えた例会がありました。フリートークから…

- ・商店街を改革中の他の町でも2~3年間は試行段階だった。
- ・納涼会の場所が変わって不満である。しかし市民全体としては今の場所がいい。一過性のイベントではなく、商売としての魅力を出していただかないと。イベントはPRの機会である。東町は空白地帯になっている。
- ・亀山の特産品であるローソクも亀山の商店街では売っていない。
- ・亀山のセールスポイントは何かあるのか。景観があるのでは。食べ物。おみやげ。坂の町。東海道など。
- ・便利な場所に駐車場が無い。
- ・シャッターが閉まった店をどうするか。日替わり看板の店で例えば家庭料理とかできたら。
- ・空き店舗の活用は誰がやるかが問題。一店舗からでも始めれば。
- ・積極的な協力は無理でも足を引っ張らなければいい。
- ・思いをつなげる仲間を集めていきたい。
- ・役割分担としてお店の皆さんはお店をがんばり市民ボラは空き店舗活用を進めよう。



男性だけには  
まかせておけません

### つくしの家 赤塚先生 「障害を持つ人たちと一緒に働いて」報告

日時：2004年2月29日(日)10：00～12：00 場所：あいあい 2階 小会議室1・2

つくしの家にて障害を持つ方たちと一緒に働く中で、障害ゆえに起こる数々の事を、例を挙げながら一つ一つお話をして頂きました。

大変考えさせられるお話で、参加の方が少なかったのは残念でした。

心に残った話は、当たり前のことをきちんと伝える大切さ、基礎を身に付けさせる(ルールをわからせる 落ち着いてくる 興味を持つものが出てくる)、「障害者だからしょうがない」はだめ、皆から愛されていることの大切さ、家族の愛情が大切・・・障害者だけでなく、誰にでも当てはまる話のようにも聞こえました。

質疑応答でグループホーム立ち上げについて、何かお手伝いできることはないかとの意見、お母さん方からは遠い話と思っていたがこれからの子育てにとっても役に立つという意見が出ていました。(浜野)

アンケート回答感想より

- ・すごく長い長い年月をかけて、障害者と向き合っておられる、赤塚先生をはじめとする、先生方。そして、少しずつでも、明るい方向に向いてきているお話に感動しました。
- ・つくしの家の先生方の、日頃のご苦勞をうわすべりしか知らなかったの、今日お話を聞かせていただいたことが本当に良かったと思います。
- ・周りの状況を知る(他の障害児)
- ・先のことを考えて、今を考えて育てる。
- ・子どもがまだ低学年で将来のことを考える余裕がない中で将来の予想がついた(どうしたらいいのかわからない)



### みつまたの花

野登山のふもとに今年もまたみつまたの花が咲き始めました。一昨年初めて連れて行ってもらいましたが、誰にも知られず山の斜面にびっしりとみつまたが咲いているのを見た時は幻想的で心癒される想いでした。このまま秘密の場所にしておきたい。でも、あの美しさを皆さんに知ってほしい気持ちもあります。

### 自然体験・エコフェスティバル みつまた祭り

とき：3月28日(日) 午前10時~午後3時  
ところ：坂本農村公園およびみつまた群落地

毎月第3水曜日は、市民コーナーでパソコン相談を開催しています。わからないことは、皆さんと一緒に解決しましょう。時間は 10：00から17：00まで。ノートパソコンなら持ち込んでください。(伊藤)

ワードやエクセルにHP製作、ウイルス対策等々



## 今後の行事予定

講演会 「日本と国際」	3月27日(土) 19:00～21:00	あいあい2階	講師: 舘清さん 鈴鹿国際大学講師 英検・TOEIC三重県委員長
自然体験・エコフェスティバル みつまた祭り	3月28日(日) 10:00～15:00	坂本農村公園と みつまた群落地	みつまた見学ツアー、紙すき・和紙作品づくり・ひとふで画体験、句会、生涯学習講演会、水辺の生き物紹介、多肉植物即売など
第4回市民交流会記録冊子 印刷製本作業	3月28日(日) 17:00～	市役所1階 市民活動コーナー	
亀山城さくら祭り実行委員会	3月30日(火) 19:00～	市役所3階 大会議室	さくら祭り最終打ち合わせ
春休み親子お菓子作り教室	3月31日(水) 9:30～14:00	あいあい2階 栄養指導室	親子で体験しませんか?
きらめき亀山21 企画会議	4月1日(木) 19:30～	市役所3階 理事者控室	4月21日のテーマの検討について
ぽっかぽかの会 「一人一人が輝いて過ごせる場所を」 (ダンス第1回)	4月1日(木) 16:30～17:30	あいあい2階 研修室	
亀山城さくら祭り	4月4日(日) 10:00～16:00	亀山城周辺	
亀山の自然環境を愛する会 定例会	4月7日(水) 19:00～21:00	あいあい2階 小会議室1	
地域の活性化を考える会 定例会	4月12日(月) 19:30～	市役所3階 理事者控室	
宿場の賑わい復活一座 定例会	4月15日(木) 19:30～	市役所2階 第1会議室	
ぽっかぽかの会 定例会	4月16日(金) 19:00～	あいあい2階 小会議室1	
ぽっかぽかの会 アート教室	4月18日(日) 10:00～12:00	あいあい2階 生きがい工作室	
KIFA亀山国際交流の会 定例会	4月20日(火) 19:30～	市役所3階 理事者控室	総会
子育て支援「かめのこ」	4月20日(火) 10:00～12:00	児童センター2階 会議室	総会
ぽっかぽかの会 お菓子作り教室	4月21日(水) 9:30～13:00	あいあい2階 栄養指導室	
無料パソコン相談	4月21日(水) 10:00～17:00	市民活動コーナー	
定例市民交流の日	4月21日(水) 19:30～21:30	市役所3階 大会議室	テーマは、4月上旬「きらめき亀山21」ホームページでお知らせします

編集作成：「きらめき亀山21」広報

この月刊新聞は毎月21日の交流会に配布され市役所市民活動コーナーや各公共施設でも入手できます。

EMAIL amani@helen.ocn.ne.jp ホームページ <http://www6.ocn.ne.jp/~kameyama/kirameki/>

亀山市民ネット <http://www6.ocn.ne.jp/~kameyama/>